

一般社団法人 巨樹の会
新武雄病院

おおくす

2016.12
Vol.15



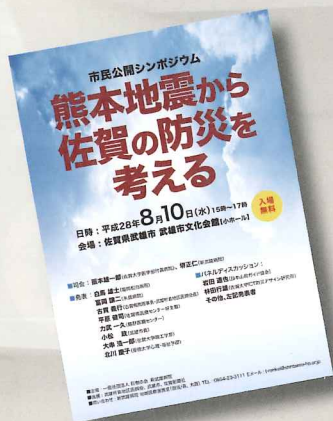
Me Sabu'
滝沢カール

Contents

市民公開シンポジウム 1
奥穂高岳山行記 2
事務部紹介 3~4
ふれあい看護体験 5

リハ夏祭り 5
人間ドックのご案内 6
ちょこっとリハ/理念・基本方針

市民公開シンポジウム



8月10日水曜日15：00より武雄市文化会館小ホールにおいて「熊本地震から佐賀の防災を考える」と題して、市民公開シンポジウムを開催しました。

定例では、市民公開講座として、先生方に治療法などのお話をさせていただくのですが、今回初の試みとして、佐賀県の各分野と当院グループより熊本地震の支援にかかわった方々にお集まりいただき、シンポジウムとして意見を交わしていただきました。

第1部では支援の具体的な内容の報告について、第2部では佐賀県で想定される災害や、災害支援の問題点、ITの活用についての発表がありました。その後、パネリストによる意見交換が行われ、各種支援団体や行政の連携、および日ごろからの訓練や準備を含めた自助についての意見が出ました。

司会をお願いした佐賀大学病院の阪本教授（佐賀大学医学部 救急医学講座 教授）からは、多分野からの意見を交換できたことへの謝辞と、当院総合診療科部長の堺先生のネットワークにより、このような機会を持てたことへの感謝の言葉を頂きました。

当院としても、初の試みとあって不安な部分がありましたが、立ち見ができる程、盛況で市民の方々の関心の高さも知ることができました。
(情報企画室：澤村)



奥穂高岳山行記

総合診療科 部長：堺 正仁

さる10月某日、理事長とかねてから計画していた奥穂高山行を決行した。博多駅から名古屋経由で上高地に入った。上高地は外国人も含め登山者のみならず観光客でごったがえしていた。足早に河童橋を通過しニホンザルにかこまれながら徳沢園、横尾とタイムコースより早く軽快に横尾に到着した。新しくなった横尾山荘はホテルなみでゆっくり入浴した後、夕食時山経験豊富な名古屋からの老ご夫婦と懇談した。九重がお好きで毎年ミヤマキリシマの季節にフェリーで別府にこられるそうで九重のすばらしさを聞いて、うれしかった。理事長と澄み切った空気のなかで月を観た。月をじっくり観たのは何年ぶりだろう。ロマンチック。隣で一緒に月を観る人が、、、。寒くなったので明日の厳しい山行に備え早々に寝た。翌日は5時30分にヘッドランプで照らしながら横尾を出発した。朝日を浴びる屏風岩の荘厳なスケールにおどろき、本谷橋で休憩後一気に涸沢に入った、コースタイムより10分以上早い。34年ぶりの涸沢は何もかわってなかった。学生時代3度涸沢でテントを張って数日過ごした。ついに穂高に登ることはなかったが理由は友人が軟派野郎で涸沢で出会った女の子達と遊んでばかりいたからだ。自他とも認めた硬派だった自分はその度悔しい思いをしてきた。紅葉はナナカマドが少しあるだけで3日前の台風で葉がすっかりとばされてしまっていた。涸沢小屋で水を補給し、感傷にひたる間もなく、いよいよザイテングラートをめざした。入り口で休憩したが息切れが激しく高山病になったようだ。日差しが強く予想外に体力を消耗した。メットのひもを締め、いよいよとりついた。先週1週間で2人滑落死したと思われる涸沢岳側の斜面を右にみながら急登を登りきり、白出しのコルにある穂高岳山荘に到着した時は高山病と脱水症で息も絶え絶えだった。小屋前の水を口に注ぎ込み一息ついた。雲行きが怪しくなり山小屋のかわいい娘さんからは、今から奥穂高岳に登頂するのは止められたが、迷わず理事長と登り始めた。石がほとんど浮き石で落石するのもされるのも怖く、ガスもますます深くなり視界1m程度か。梯子が冷たく手が痛い。岩が多くグローブを付けたり外したりしながら慎重に進む。風も強くなり登頂できても山小屋まで明るいうちにもどれるか自信なく奥穂高岳山頂まで10分というところで「勇気ある撤退」を開始した。山小屋に着いたときは雨が本降りとなり食事のときは宿泊者たちの話題は明日の行動についてだ、皆涸沢に降りるという選択しかないことがわかった、雨の中あのザイテングラートを下れるのか？このまま、3,000mの小屋で暮らしたい。山の診療所の医師としてとか、いいクラークがつかかなとか

考えながら暗い気持ちで食事をした。夜は理事長が予約してくださった個室で早々寝込んだ。夜間風が窓を激しくたたいた。「明日は沈殿だ。ゆっくりしよう」と考えていたが朝皆遅れながら雨の中出発していった。今日はゆっくり山小屋ぐらしと決め込み薪ストーブのところで長い足を組んでヒーコを味わいながら、山ガールに富岡先生的山のうんちくをのたまっていたら2階の部屋から降りてこられた理事長が「下るぞ」という信じがたいお言葉をのべられた。明日も天気だと言う保証がないとのことだったが、とにかく早々に準備し山小屋を後にした、山ガール（正確にはウーマン）はそんなにかわいなく会話が面白くなく未練はまったくなかった。ガス、雨ははげしく時折突風が行く手をはばむ。3,000mでの過酷な自然の中は九州では経験できない。突風が体ごと持っていく。ダブルストックでかろうじて耐風体勢をとる。少しの晴れ間にハイマツの中から冬用に白衣装をまとった雷鳥の家族に遭遇した。昨年の劔岳、1昨年の表銀座と理事長もそうだが3年連続雷鳥様にお会いしている。これは神々しいことである。ガスのなか雷鳥様の鳴き声が道しるべになってくれた。悪天候のため視界がわるく道迷いしやすい。後ろから理事長が「こっち、こっち」と指示される。涸沢山荘に着いたときは、予定外の悪天候で避難した人たちで小屋はごったがえしていた。名物の生ビールとカレーライスを食べた。いろんな山小屋でカレーライスを食べてきたがこのカレーは八ヶ岳赤岳展望小屋につぐ銀河系2番目と僕が認定した。ちなみにワースト1は理事長とも意見が一致するH温泉小屋のものだ。理事長はその後日本酒5合を飲まれ山ガールと談笑したらしく、僕はばてて寝込んでいた。翌日その山ガールを拝見する機会を得たがかなりランクは上位だった。くやしい。翌日もさらに雨は激しく上高地めざし寂しく下った。

上高地に着いた頃は晴れ間がでて河童橋は大勢の人種でごった煮状態だった。振り返ると穂高は雲の中にかくれていた。

今回の山行で驚いたことは山女子（ガール、ウーマン、婦人、分類不能）が多く、アベックが多いことだ。くやしい。（さてこの山行記にくやしいという言葉が何度出てきたでしょう。答えは澤村編集長まで。正解者から豪華商品を作者に進呈。また日本の女性登山家のパイオニア田部井淳子さんが先日お亡くなりになりました。合掌）

「なぜ山に登る。そこに山ガールがいるから」

マロリーが聞いたら怒って生き返ってきて、エベレスト初登頂の真実をおしえてくれるかも。



事務部 紹介

入院医事

入院医事の仕事は、主に患者様対応として「入院案内」「退院の計算」、またその他に「診療報酬請求事務」等の業務を行っております。

入院となる際、患者様の気になる箇所として高額医療になるのではないか？という不安な点が一つ挙げられると思いますが、窓口にて入院費に関するご案内・ご相談も行っております。

患者様が安心して入院生活を送れますよう、入院医事としてサポートさせていただきます。

入退院の際、なにかご不明な点等がございましたらお気軽に入院担当までお問い合わせください。



外来医事

外来医事は、病院理念である『患者様には愛を』をモットーに、患者様が安心して受診して頂けるよう他のスタッフと連携し、病院の顔としていつも笑顔で適切な対応、かつ迅速で正確な業務遂行を心掛けています。どんな些細な事でも結構です、ご不明な点やご相談がございましたらお気軽にお声掛け下さい。

診療情報管理室

診療情報管理室の主な業務内容は、疾病コーディング、診療録（カルテ）の保管・管理、統計業務、がん登録等です。スタッフ4名の小さな部署ですが、日々協力し合い業務を行っております。患者様と接する機会があまりない部署ではありますが、よろしくお願いたします。



総務課

総務・経理の業務は、かなり幅広い業務を行っておりますが、病院を維持するための土台をさらに強固なものにし守っていく、とても重要な仕事だと思っています。“縁の下の力持ち”として病院や職員を守る重要な役割を担っています。

総務・経理は、医師・看護師・コメディカル・事務系など、すべての部署と関わりをもつ部署です。

今後も各部署との連携をより一層密にし、当院の理念「手には技術 頭には知識 患者様には愛を」に基づき、より良い病院づくりを目指していきたいと思います。



地域医療連携室



地域医療連携室では現在 11名体制（看護師1名、ソーシャルワーカー5名、事務2名、営業3名）で患者様のサポートをさせて頂いており、他医療機関からの患者様のご紹介やお問合せの窓口としての業務を行っています。



また年に数回、当院の医師と地域の医療関係者とで症例を持ち寄りディスカッションを行う症例検討会や地域の公民館などに出向き健康講座を行っています。



その他入院患者様の退院や転院に関するお手伝いをさせて頂いております。医療費や介護保険制度の事など気になること等ありましたらお気軽にご相談ください。

健診センター



日本人の3大死亡原因の上位は、がん、心疾患、脳血管疾患となっています。現在、これらの疾病に対する治療法は大変な進歩を遂げています。

できれば日頃から予防に留意して未然に防止できればそれに越したことはないと思います。

厚生省は、今後高齢化した日本では、上記の病気はさらに増加すると予想しています。労働基準監督署、各健康保険組合、地方自治体等も市民に各種がん検診、人間ドック等健康診断の定期的な受診を強く推奨しています。



健診センターでは、来院時からご帰宅時まで、挨拶・笑顔での対応にスタッフ一同心掛けています。皆様も定期的に健康診断をご受診下さい。

用度課



用度課（サプライセンター）では、ガーゼや注射器などの医療材料や、電気メスやモニターといった治療や検査に使用する医療機器を購入する部署です。

サプライセンターでは『SPDシステム』にて定数管理を行っており、購入した物品を小分けにしながら必要な数量の払い出しを行っています。

月末には棚卸を行い、在庫の確認や使用期限の確認を行うことで、過不足なく物品が揃うように管理を行っています。

患者様に直接お会いする機会は少ないですが、医師や看護師のサポートするために日々務めています。



メディカルクラーク



2階の外来診察室で受付、診察の補助を行っています。

主な仕事内容は、受付対応、診察の補助、文書作成、オーダー代行入力などです。

また、医師事務作業補助者として、先生方の事務負担を軽減し、医療行為に専念していただくため、勉強会などを開催し知識の向上につとめています。

笑顔・挨拶をモットーに、少しでも患者様の不安を取り除くお手伝いができればと思っています。

外来診療について何かご不明なことがありましたら、お気軽にご相談ください。



『ふれあい看護体験』

ふれあい看護体験

7月22日(金)に『ふれあい看護体験』が行なわれました。

このイベントは旧厚生省が“看護の心、助け合いの心をすべての人々が分かち合う”事を願い、5/12を看護の日と定め、その催しの1つとして行なわれています。今年も12名の県内の高校生に参加していただきました。看護師に教わりながら、血圧を測ったり患者様の足浴、食事の配膳を行なったりと緊張しながらも真剣に積極的に体験していただきました。そして参加していただいた生徒さんからお手紙が届きました。その一部を紹介致します。『私もいつかは患者さんを自然に笑顔にできるような看護師になりたいと思いました。とても貴重な体験ができました。看護師になる



のはとても難しいと思うけど、私は立派な看護師になります。』『笑顔を大切に心身共に患者さんを支えてあげられるような看護師になりたいです。強く、優しい看護師になります。たくさん学ぶことが出来て本当に参加できて良かったです。』などもっともっとご紹介したいのですが…。この体験で看護師になる夢が一層強く感じてもらえた事がとても嬉しく思いました。ここから何人の看護師が誕生するのか楽しみです。
(看護部長室:安富)

リハビリテーション室

夏祭り



8月20日(土)リハビリテーション室で毎年恒例の夏祭りを開催しました。

まずはヨーヨー釣りや的当て、記念写真コーナーなどの出店をまわって頂き、その後のステージコーナーではスタッフの寸劇や夏にちなんだ音楽演奏が行われ、最後は皆さんと一緒に夏祭り体操を踊って締めくくりました。

入院中で外出が困難な患者様に「夏」を感じてもらえるよう、スタッフ一同で準備致して参りましたが、患者様も笑顔で歌や踊りに参加され、楽しまれていました。たくさんのご参加ありがとうございました。

(リハビリテーション科:高嶋 春華)



人間ドックのご案内

年に1回は自分の身体の事を知り、健康管理に努めましょう!!

みなさんは、自分の身体の事をどのくらい御存じですか。
自分は大丈夫。その油断が危険信号です。「がん」「心臓病」「脳卒中」といった生活習慣病は、長い年月をかけ進行するものがほとんどです。
自覚症状が現れてからでは手遅れになる事もあります。まずは、健康診断を受け自分の身体を見つめなおしましょう。

※健康保険を利用した受診は出来ません。



予約から健診までの流れ(当院は**完全予約制**です)

お申し込み

受診希望日の2~3週間前までに
お申し込み下さい。

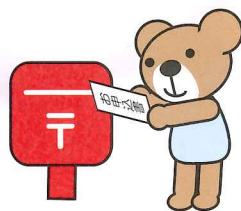
胃の検査をご希望の方は、胃カメラか
胃透視(バリウム)を選択して下さい。



書類送付

ご予約後、コースに合わせた
問診票などの関係書類を
お送りします。

中身をしっかりとご確認ください。



健診当日

事前に送付した書類に記入し、
検体・保険証をご持参の上、
当院健診室までお越し下さい。
受付後、検査へご案内致します。



主な健診コース ※健康保険証はご利用できません。

- 人間ドック(日帰り・宿泊)
- 脳ドックコース
- 生活習慣病予防健診
- 健康診断

詳しくは健診室までお問い合わせ下さい。

追加オプション検査

- 脳検査
- 腹部超音波
- 大腸内視鏡
- 胸部CT検査、喀痰検査
- 胃内視鏡(カメラ)
- 子宮頸がん検査
- 胃透視(バリウム)
- 腫瘍マーカー(前立腺)
- 骨塩定量検査
- 乳房超音波
- 乳房マンモグラフィ
- PET・CT検査(福岡和白画像診断クリニックで行います)

ご予約・お問い合わせ

なっとく ドックに

0120-791092

受診日/月曜日~土曜日(日・祝日は休診)
お気軽にお問い合わせください

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 TEL/0954-23-6444(直通) FAX/0954-26-8193(直通)
E-mail/kenshin@shintakeo-hp.or.jp



ちょこっとリハ



COPD（慢性閉塞性肺疾患）では、空気の通り道である気道が塞がれることで呼吸効率が低下する状態を招きます。さらに呼吸効率の低下は、息切れを招き日常生活に支障きたし生活の質を低下させる要因になります。この状態を改善するには「呼吸効率の是正化」が必要となってきます。

呼吸効率を高めるには「息を吐き出すこと」で次に「吸う」を楽しむことが重要です。そこでお勧めするのが「口すぼめ呼吸」です。この方法は、気道を広げる効果があるほか、肺胞（肺内で酸素を交換する器官）を膨らます作用があるため、息切れの改善には有効です。

尚、この方法の有効性や効果には個人差がありますので、必ず専門医の指導を受け安全に実施して頂きますようお願い致します。

★「吸う」



- (1) 息を吸うときは鼻から吸い、息を吐くときは口をすぼめて（ろうそくの火を消すように）ゆっくりと吐きます。

★「吐く」



- (2) 「1・2」で息を吸い、「3・4・5・6」で息を吐くようにします。（2倍の時間をかけ息を吐きます）

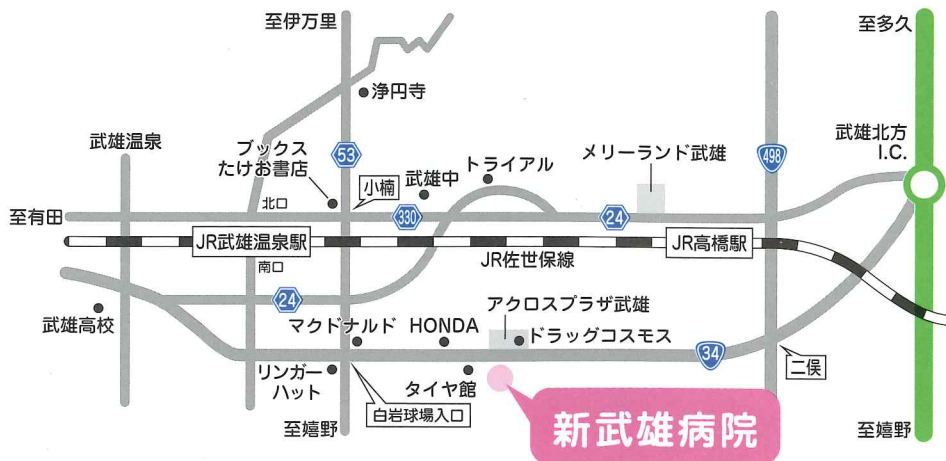
● 理念・基本方針

PHILOSOPHY AND BASIC POLICY

● 理念 「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」

● 基本方針

- 高度医療** | 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
- チーム医療** | 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援まで、ニーズに沿った医療を提供します。
- 地域医療** | いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連帯を推進します。



■ 診療科目

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科
外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科
呼吸器外科・泌尿器科・放射線科
リハビリテーション科・救急科・肛門外科

■ 診療時間

午前 9:00 ~ 12:00(専門外来)
午後 2:00 ~ 5:00
※但し、急患の場合はいつでもただちに診察致します。

● 〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 ● E-mail info@shintakeo-hp.or.jp
● TEL 0954-23-3111 ● FAX 0954-23-0208 ● ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>